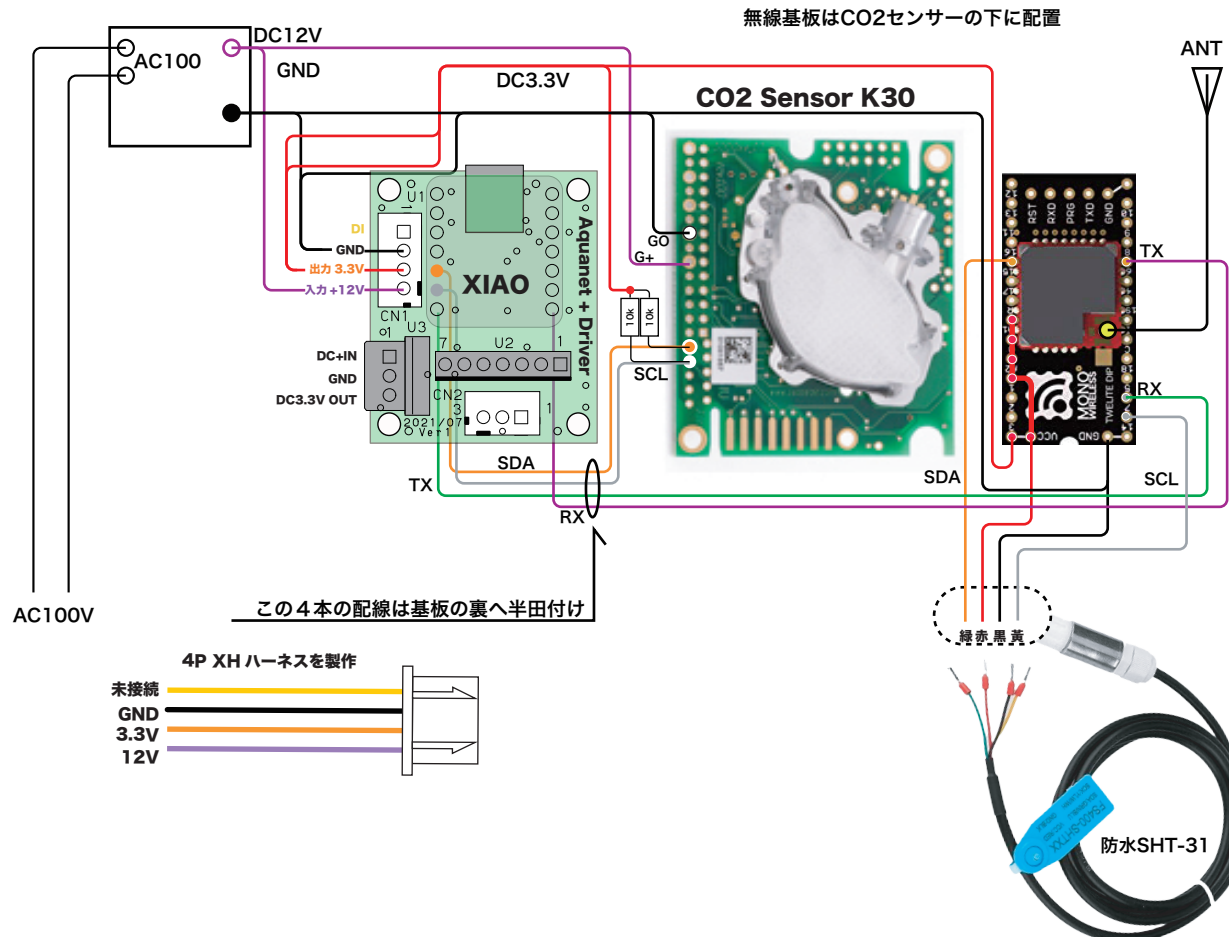


本無線子機の説明

- ・電源はAC-DC12V電源とマイコンXIAOのDC-DCコンバータにより12Vより3.3Vに変換出力しています。
- ・CO2センサーの電源はDC12V電源より給電、I2C(SDA/SCL)は10Kオームの抵抗でDC3.3Vにプルアップしています。
- ・CO2センサーはマイコンXIAOのI2C(SDA/SCL)に接続しマイコンXIAOがデータを取り込みます。
- ・CO2計測データはマイコンXIAOのUART(Tx/Rx)により無線基板TWELITEへ送られます。
- ・温湿度計測センサは無線基板TWELITEのI2C(SDA/SCL)に接続しTWELITEのマイコンがデータを取り込みます。
- ・温湿度センサーへは3.3V/GNDで給電しています。
- ・CO2値、温湿度値は無線基板TWELITEより主装置の無線親機と通信し送付されます。

XP Power スイッチング電源
12V dc 410mA 5W ECE05US12
(電源のシールに記載に従い配線の事 +Vは+12V -VはGND)



注意

- ・TWELITEにパソコンから書き込みケーブルを使いファームを書込みする場合はXIAOを抜いて電源を入れてください。マイコンのプログラムが作動しているとTWELITEへのファームを書込みができません。
- ・マイコンXIAOは事務所踏み台Raspi (緑色のGPIO端子が乗っている) USB-AとXIAOのUSB-CをUSBケーブルで接続し踏み台Raspiのデスクトップ上にあるファーム書き込みプログラムを起動し口羽さんに遠隔より書き込み依頼ください。上記、詳しくは別途記載します。